

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: R4年 7月 15日

事業所名: ラベンダー

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	十分なスペースとは言えませんが、法令に基づくスペースを確保しています。療育の内容や活動に合わせて、スペースを有効に使えるようにしています。	はい21人 いいえ1人 ・最大人数の活動を見ていないので、わからない。	今後も、療育や活動内容に配慮し、スペースを有効に活用できるよう工夫してまいります。	
	2 職員の適切な配置	法令で定められた配置基準に沿って人数を配置しています。保育士資格をもつ職員が多く在籍しています。	はい21人 いいえ0人 ・最大人数の活動を見ていないので、わからない。	今後も子供の人数に応じて、職員を配置し、対応してまいります。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	机・椅子は子供の背丈に合わせている。棚は、子供たちがよく使う玩具は下に、危険な物は手が届かない上に置いている。トイレも補助便座や足台等を置き、配慮している。	はい21人 いいえ0人 ・息子がお片付けしていて良かった。	今後も、子供が使いやすく、また生活しやすい環境に整備し、配慮してまいります。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、子供達が帰宅した後に、教室やトイレ等の掃除、玩具類の消毒をして、子供が快適に過ごせる空間をつくっています。	はい25人 いいえ0人 ・清潔感があり、安心できる空間です。	今後も、徹底した衛生管理を行い、子供達が心地よく過ごせる空間づくりをしていきます。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	支援内容を含む業務全般について、職員が、それぞれを振り返り、必要に応じて、全体で意見交換をしています。		今後も、気づいたことなどを職員間で話し合い、業務の改善に努めてまいります。	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現時点では、第三者評価は実施できておりません。		必要に応じ、検討していきたいと考えています。	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	事業所の方針や理念、緊急時の対策や研修は実施していましたが、まだまだ研修機会は少なかったです。		今後は、年間の研修計画を立てて、定期的に事業所内外での研修の確保に努めていきたいと考えております。	
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	定期的にあセスメントを行ない、子供の状況や保護者様のご意向に沿いながら、児童発達支援計画書の作成をしています。	はい26人 いいえ0人 ・とてもよく見ていただき、課題が改善されています。	今後も、定期的な子供の状況や保護者様のご意向に沿いながら、児童発達支援計画書を作成してまいります。	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子供の理解力や遂行できる力が個々で異なるため、一人ひとりに応じた個別訓練や、みんなで参加しても遂行できるような集団活動を組み合わせ、支援計画の作成をしています。		今後も、個人的な対応や活動、集団活動などを、組み合わせながらの支援計画を作成してまいります。	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子供の状況や課題、保護者様のご意向から必要な支援内容を踏まえて、必要な項目を設定し、具体的な支援内容を記載しています。	はい25人 いいえ1人	今後も変化に応じて、児童発達支援計画書を作成しています。	
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	児童発達支援計画書を基に、職員間での共通認識を持って支援に取り組んでいました。	はい24人 いいえ0人 ・数字に興味を示すようになった。 ・今まで持てなかった鉛筆が上手に持てるようになった。	支援員の知識や技術をつけていながら、より良い支援を提供できるように努めてまいります。	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	毎月のスケジュールを作成したり、活動内容やイベント内容を担当者が立案しています。		今後も、現状維持で継続してまいります。	
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	保育園・幼稚園に通われているお子様は、平日は14時頃から受け入れてることが多いですが、土曜日や祝日・長期休暇の時は、朝11時から受け入れています。		今後も、お子様の生活リズムに合わせて、対応してまいります。	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節に合わせたイベントや製作活動をしたり、課題内容も固定化しないように工夫しています。	はい27人 いいえ0人 ・毎回、いろいろやっていて助かる。 ・いろいろな活動があり、工夫されています。家庭では出来ないことを体験させてもらっています。 ・活動の様子をみる機会を設けてほしいです。	今後も、子供達に楽しんで取り組んでもらえるように、いろいろなプログラムを立案していく予定です。また、見学する機会もつくってきたいと思っています。	
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼で、当日通所する子供達の様子や情報を伝えたり、その日の一日の流れ・内容・役割などを職員間で情報を共有し、確認するようにしています。		今後も、現状維持で継続してまいります。	
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は、送迎等で難しい場合がありますが、支援員の中で、気づいた点や気になること等を、職員間で伝え合い、情報を共有するようにしています。		今後も、職員間での情報共有を意識して取るようにし、より良い支援に繋がるように、徹底してまいります。	
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々行っている活動は、事前に書面に書いている物をしていきますが、子供達の取り組み方をみて職員間で話し合い、その都度、課題内容や方法を検証し改善していくように役立っています。また、必要に応じ、連絡ノートに記録して、職員間での検証や改善に活かしています。		支援の記録を継続し、今後も支援の検証や改善に努めてまいります。	
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングを実施し、子供達の状況や保護者様のご意向を踏まえて、児童発達支援計画書の見直しや作成を行なっています。		今後も、定期的な児童発達支援計画書の見直しや作成を行ってまいります。	
	関係機関	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援事業所からの要請があれば、情報共有できるよう児発管が対応しています。		今後も児発管が参加し、情報共有に努めてまいります。
		2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケア・重症心身障害児の受け入れはしていないため、対象になるお子さまは在籍していません。		いろいろな設備面が備わっていないため、今後も、医療的ケア・重症心身障害児以外のお子さま達が対象になる予定です。
		3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在は、特別な医療ケアが必要なお子さまは在籍しておりません。		いろいろな設備面が備わっていないため、今後も、医療的ケア・重症心身障害児以外のお子さま達が対象になる予定です。
4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		保護者様や相談員の方から依頼があった際には、情報共有を行なっていました。		今後も要望があれば、積極的に行ってまいります。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
との連携	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	放課後等デイサービスは実施していないため、該当するお子さまはいません。		放課後等デイサービスは実施していないため、該当するお子さまはいません。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関での研修の機会はほとんどありませんでしたが、事業所併用のお子様については、連携をとり、情報共有をしていました。		今後は、専門機関での研修へも積極的に参加していきたいです。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	ほとんどの子供達は、保育園や幼稚園に通っており、個々で障害のない子供達との交流はできていると考えます。 現時点では、事業所主催の交流の機会は企画できていません。	はい3人 いいえ4人	現在は、コロナ渦ということもあり、交流の機会について積極的には企画できていませんが、また折をみて検討していきたいと思っています。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所での行事については、スタッフ数や教室の面積も踏まえると入室していただくこと自体が、実施不可となっています。		今後も特に変更はないかと思います。
保護者への説明・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明しています。その後は、支援内容は、連絡帳を通じて、また負担額などは請求書に記載しています。	はい27人 いいえ0人 ・連絡帳が丁寧で活動内容が分かりやすく、親切です。	今後も、同様に継続していきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者様のご意向を参考に作成した児童発達支援計画書を一度持って帰っていただき、了承を得たうえでサインを頂いています。分かりにくい部分や大事なこと等、必要に応じ、説明をしたり、質問にお答えさせていただいています。	はい26人 いいえ0人	今後においても、送迎時などでお渡しするときに、直接、児発管と保護者と対面してお渡しする機会があれば、説明をしてお渡ししていきたいと考えております。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者様から気になる意見などがあつた場合は、メールや連絡帳・面談等でお答えしています。	はい11人 いいえ3人 ・悩んだ時のアドバイスを頂いています。 ・日々の様子を教えて頂けるので、有難いです。	保護者様から、成長や育児の仕方での悩み等があつた際、また事業所で気になることがあつた際などには、積極的に連携をとってご支援ができればと考えています。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時、連絡帳や携帯などを通じて、連携をとっており、子供達の発達状況や課題について、保護者様と共通理解が出来るように努めています。	はい28人 いいえ0人	今後においても、共通認識を持って、子友達のご支援に携わっていただけるよう、日頃の連携を大事にしていきたいと考えています。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や連絡帳を通じて、保護者様からの相談を伺い、保護者様の気持ちに寄り添いながら、アドバイスや助言をさせていただいています。	はい17人 いいえ3人	今後においても、保護者様の気持ちに寄り添い、少しでもお役に立てられるよう、努めていきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在は、父母の会の活動は、実施しておりません。	はい11人 いいえ13人 ・ゆくゆく保護者会を開催してもらえたら嬉しいです。 ・個人的には不要です。	コロナ渦が落ち着き次第、希望される保護者様同士や職員と話す機会を教室で設けられればと思っています。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があつた場合の迅速かつ適切な対応	苦情があつた際には、責任者が窓口になっており、頂いた連絡においては、迅速かつ適切に対応できるよう、努めさせて頂いています。事実確認をした上で、全職員で周知させて頂いています。	はい17人 いいえ0人 ・苦情があつたのかどうか分からないため、分からない。	今後も出来るだけ、迅速な対応を行ない、早期の問題解決や安心してお子さまを預けてもらえるよう、努めてまいります。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	障害特性に応じて、お子さまとは、視覚情報を用いたり、簡単に明瞭な言葉で意思疎通をとっています。連絡帳も、分かりやすい表現で取らせて頂いています。	はい24人 いいえ0人	今後も個々の状況に配慮して、情報伝達できるよう努めてまいります。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、月末に翌月のスケジュールや行事予定の連絡を携帯を通じて発信しています。	はい21人 いいえ0人 ・おたよりを見て、今月はこんな課題やイベントをしてくれるんだと親の私も楽しみにしています。	今後も、継続していきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報については、事務室の鍵付きの書類棚で保管させて頂いています。ホームページやWEB上にのせる場合も、保護者様のご意見を随時確認するようにしています。	はい25人 いいえ0人	今後も、個人情報の取扱いに充分注意し、保管してまいります。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルや対策を作成し、全職員で周知理解するようにしています。決められた場所に、マニュアルをファイリングしています。保護者様への説明は、契約時に簡単にした程度でした。	はい19人 いいえ1人 ・マニュアルは紙面にしていたらと助かります。	今後は、職員にもマニュアルと対策に、より慣れていってもらえるよう、研修や訓練を定期的に実施していきます。保護者様にも説明できるよう、書面でお渡ししたいと検討しています。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	開所して以降、まだスタッフ間だけの訓練しかできていません。	はい10人 いいえ1人 ・避難訓練もできる範囲で教えてもらええると、助かります。	今後は、子供達を交えた訓練を積み重ね、さまざまな非常時を想定して、訓練していきたいと考えております。実施した際には、保護者さまにもご報告させていただきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止に関する研修を年間計画にのり、定期的に研修を行っています。		今後も、虐待防止に関する研修を取り入れながら、子供との関わり方を見直し、防止に努めていきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	装具等を装着する場合には、使用する部位や用途・時間等を保護者様と話し合い、了解を得た上で行っています。児童発達支援計画書にも記載させて頂いています。		今後もやむを得ず必要な場合には、保護者様と話し合い、了承を得ていることを前提に行い、全職員とも周知徹底の元、実施させて頂きます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に、アレルギーの有無、内容を確認し、アレルギー表を作成しています。全職員が共通理解をして、お弁当・おやつ時間は席を離したりして、安全に対応させていただいています。		今後も、保護者さまからの意見を基に、全職員が周知徹底し、事故がないように注意を払っていきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成しています。原因や対策などを検討し、再発防止になるように、全職員で共有しています。		今後も、ヒヤリハット報告書を活用し、再発防止になるように、全職員で共有し、安全対策に努めてまいります。